

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
1	山賀子平	<p>1. 十日町青年会議所主催の「ローカル・マニフェスト検証大会」の市長の自己評価について</p> <p>(1) 当日は、先着500名の案内に対して約50人の参加者でした。市長の感想を伺います。</p> <p>(2) すぐに行う重要施策（優先順位の高い順に3つ）のトップ、「地域中核病院の建設」の評価を、0～4の5段階の2（進捗度：中、具体的に実施されている）と評価している根拠は。</p> <p>また、魚沼基幹病院職員に関するアンケートで87%の皆さんが働きたくないとの結果が公表されています。知事の言う公設民営で十日町病院は将来にわたって持続可能か、市長の決断は。</p>	市長
		<p>2. 財政運営上の課題とこれからの取り組みについて</p> <p>(1) 具体的に実施され達成間近であるとし、3（進捗度：高）と評価している。過去3年間の退職者数と臨時職採用数は。また、将来の職員構成への影響は。</p> <p>(2) 4年間で行う重要施策（優先順位の高い順に3つ）の3番目、「怒涛の人の流れを創り出す」について、具体的に実施されている（進捗度：中）2と評価されている。中心市街地活性化計画の位置づけは。</p>	市長
2	庭野茂美	<p>1. 十日町市内の放射線測定と除染について</p> <p>(1) 当市では、3月の福島第一原発事故に起因すると思われる放射線が保育施設、小中学校、県立高校などで観測されています。</p> <p>この中には、市の暫定基準値0.3マイクロシーベルト（毎時）を超える箇所も多く、それらの地点では除染や覆土、保管などの素早い処置が行われているところですが、これまでの経過と対応をお伺いします。</p> <p>(2) 教育施設や公共施設以外の居住地域などでも、放射線量の高い、いわゆるホットスポットの存在の心配と不安が市民の間に広がっており、行政区や集落単位で希望の箇所の放射線計測が必要と思いますが、市長の考えをお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 中心市街地活性化基本計画について</p> <p>現在国からの認可に向けて、中心市街地活性化基本計画策定が進められています。10月30日には市民会館を会場に「中心市街地活性化市民シンポジウム」が開かれ、基本計画の第1次骨子の説明や、にぎわいを創出するためのパネルディスカッションが行われました。</p> <p>認可基準は大変厳しいと認識していますが、現在の状況と今後の予定について、及び当該地域住民や事業者はもとよりですが、「最後のチャンス」と言っている市長の意気込みも併せてお伺いします。</p>	市長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
3	太田祐子	<p>1. 子育て支援について</p> <p>(1) 公立保育園の統廃合及び民営化計画の決定が変更・修正をした上で発表されました。この経緯についてお伺いします。</p> <p>① 9月20日に橘保育園保護者会から市に要望書が提出されましたが、その内容と対処について。</p> <p>② 10月から3月にかけての予定が掲載されているが具体的な説明内容と日程計画について。</p> <p>(2) 「近隣に代替施設がある、または施設整備が図られることを前提として」との文言が加えられた根拠についてお伺いします。</p> <p>(3) パブリックコメントの市からの回答として「統廃合によって生み出された財源は、下記の6項目に充当するとしているが、削減される財源をと、6項目の事業への充当をどれくらい見込んでいるのか。具体的な内容と金額をお聞かせください。</p> <p>① 私立保育園が障がい児・気になる子を受けやすくするための助成拡大</p> <p>② 市街地の公立保育園における障がい児等保育体制の充実</p> <p>③ 昨年7月から保育料統一化による保育料軽減のさらなる見直し</p> <p>④ 医療費の完全無料化</p> <p>⑤ 発達支援センターの運営充実</p> <p>⑥ 予防接種事業の拡充</p>	市長
		<p>2. 広域関東圏 観光交流ネットワーク形成について</p> <p>経済産業省関東経済産業局では、地域経済の重要な担い手として「観光」の可能性に着目し、地域全体の経済活性化、雇用創出といった経済効果を上げるため、人・モノ・カネ・情報の交流そのものを広義の「観光」と捉えて支援を行っています。</p> <p>平成22年度には、関東1都10県で実践されている事例を調査し、それをもとに観光交流ネットワークの構築を図ってきました。</p> <p>このネットワークは、各地域で観光による事業創出を検討する際に課題となる地域資源を活用した企画立案やマーケティング、ビジネスモデル構築、プロモーションなどのさまざまな局面で、それぞれの専門家や地域事業者、さらに顧客や地域住民、行政が知恵を出し合い、具体的な事業を推進していくもので、消費地である首都圏と各地域とが連携するネットワークを構築し、観光による地域活性化を積極的かつ継続的に運営していくための支援事業です。</p> <p>10月20日、関東経済産業局の方とNPOの農家のこせがれネットワーク理事である脇坂氏、そして当市の山岸部長を初めとした行政の皆さんによる話し合いがもたれました。その感想と今後の展開についてお聞かせください。</p>	市長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
4	小林正夫	<p>1. 東日本大震災による「がれき処理」対応について 当地域では、中越大震災を初め、中越沖地震や長野県北部地震など、大震災により大打撃を受けてきました。 しかし、その都度各方面から多大なご支援やご協力を受けたことが復旧・復興の励みとなったことから、今なお進まない、東日本大震災で発生した「がれき処理」の受け入れについて協力できないものかお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 十日町市の最終処分場について 当市の最終処分場は、仙田地区の霧谷に管理型として運営されています。拡張時の地元協議において、この施設の使用期限が設けられていますが、円滑な市民生活にとっては必要不可欠で大切な施設と思われれます。 そこで、「十日町市の最終処分場」の現況や課題について、及び隣接地域への支援策などをお伺いします。</p>	市長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
5	鈴木一郎	<p>1. 選定率について</p> <p>(1) 平成27年度までの総合計画の後期基本計画で、合併10年後の最終選定率の結果が、新市建設計画と比較して、十日町地区プラス2.3ポイント、川西地区マイナス1.3ポイント、中里地区マイナス0.4ポイント、松代地区マイナス0.7ポイント、松之山地区プラス0.1ポイントとなるということです。ポイント数ではなく具体的に金額はいくらになるのかお伺いします。</p> <p>(2) 合併時に決められた選定率を守るのは当然だと思いますが、総合計画の後期基本計画の策定時に、なぜ新市建設計画の選定率どおり計画が立てられなかったのかお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 行政改革について</p> <p>(1) 支所機能が低下しています。住民サービスは低下させないと言ってきたが、住民は低下したと感じています。 行政改革のしわ寄せは、支所に集中し、支所業務は広範囲になっていると思いますが、この現実をどう考えているのかお伺いします。</p> <p>(2) 500人体制にこだわってきた結果、勸奨退職者が大変多い。経験豊富で、これから市の要として期待される課長補佐、係長クラスが相次いで退職するのは、市の組織運営にとって、ひいては市民サービスの上からも大きなマイナスです。どう考えているのかお伺いします。</p> <p>(3) 仕事に対するモチベーションを失ったということが退職の理由であれば、500人体制ということに一因があるのではないかと。 市長は、市役所のトップとして、職員から全幅の信頼を寄せられていると思うのかお伺いします。</p>	市長
		<p>3. 特別支援学級について</p> <p>(1) 特別支援を必要とする児童、生徒数が年々増加していることに伴い先生の負担も大きくなっていますが、職員配置は基準を満たし、適切に配置されているのかお伺いします。</p> <p>(2) 入学前の対象児童の早期発見と早期支援の開始、及び早期診断による適正な対応等を市として行う考えはあるのかお伺いします。</p>	市長 教育長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
6	村山邦一	<p>1. 十日町市総合計画後期基本計画について</p> <p>市長は、「選ばれて住み継がれる十日町市」の実現のために、一年前倒しで今年からスタートしました。市政運営上の信念であり、市民と共有したいという事でありました。そこで次項についてお伺いします。</p> <p>(1) 本計画は、平成23年から平成27年までの5年間ですが、実施計画・長期財政計画がセットになっています。23年度災害対応の中、見直し等について。</p> <p>(2) 「新温泉で元気のでる地域をめざす会」の皆さんが、旧松里保育所と老人憩いの家「松寿荘」の既存の機能を統合して、高齢者を中心とした市民の健康増進などの機能を備えた総合福祉的施設にするよう要望書が提出された。(平成23年10月12日)</p> <p>実施計画にあります、その対応について。</p>	市長
		<p>2. 十日町市老人福祉計画について</p> <p>介護保険制度は施行後10年を経過しました。「保険あって介護なし」の言葉があるように、高い保険料・利用負担、深刻な施設不足、利用できる介護が制限されるなど多くの問題が出ています。</p> <p>今年6月に国の改訂がありましたが、十日町市の対応と今後の計画についてお伺いします。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業を導入することができることとなりますが、どのように対応するのか。</p> <p>(2) 平成24年度からの第5期介護保険事業計画における、保険料・特別養護老人ホームなど施設サービスについて。</p>	市長
7	尾身隆一	<p>1. 十日町病院について</p> <p>(1) 「医療再生計画」に示された内容と市の連携、今後の課題についてお伺いします。</p> <p>(2) 検討会(平成21年1月)で示された地元自治体の役割分担で、現在までの到達・検討状況についてお伺いします。</p> <p>(3) 運営主体と医師等スタッフ確保の見通しについてお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 災害復旧について</p> <p>(1) 災害復旧工事(国庫、市単)の進捗状況と今後の進め方についてお伺いします。</p> <p>(2) 災害による来年度作付け不能面積と農家への支援と対応、及び相談体制についてお伺いします。</p>	市長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
8	安保寿隆	<p>1. 自治基本条例の制定について</p> <p>市は、5月に自治基本条例の策定を提起し、その検討方向の概要を示しました。8月には、牛山久仁彦教授を招いて「自治、まちづくりを考えるシンポジウム」を行い、10月には「市民勉強会」を開催し、市民啓発、宣伝の第一歩を踏み出しました。</p> <p>その中で、自治基本条例の一般的定義として「自治・まちづくりに対する、市民・地域・各種団体・議会・行政等のそれぞれの役割・権利・義務・責任を明確に定めたもの」「自治体の最高規範の性格を持ち、『自治体の憲法』とも呼ばれる」とし、全国では200を超える自治体で制定、もしくは検討中と聞いています。</p> <p>しかしながら、その内容については、市民的理解がほとんどされていない現状にあると考えます。内容の伴わない自治条例の制定では、単なる形式、セレモニーに終わり「自治」とは、ほど遠いものにならざるを得ないと考えます。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 市長は、自治基本条例の制定に向けてどのような思いを持っているか。</p> <p>(2) 作り上げていく過程でどのようなことを柱にし、あるいは重視して制定に向けて取り組む考えか。</p> <p>(3) 自治基本条例では「行政の責任と役割」が改めて強調されていますが、その決意、覚悟について。</p>	市長
9	宮沢幸子	<p>1. 環境政策について</p> <p>東日本大震災における福島原発での甚大な被害の影響により、電力需要がひっ迫するおそれがあるため、今夏は日本全土で省エネへの取り組みがなされました。</p> <p>当市においても「節電エコポイント事業」を実施し、広く市民の皆さんが15%の節電協力をしましたが、その取り組みの成果についてお伺いします。</p> <p>冬の暖房シーズンが始まり、冬期間においても電力不足が心配される場所ですが、夏場と同じように、市民一丸となった節電政策を展開するお考えがあるのかお伺いします。</p> <p>また、新しいエネルギー政策のお考えがあるのかお伺いします。</p> <p>2. 行政改革と事業仕分けについて</p> <p>行政改革実施計画「第2次重点改革プラン」は、平成23年から平成27年度までの5年を計画期間に実施されます。</p> <p>総合計画のまちづくり実現のため、健全で効率的な行財政基盤の確立を改革の基本理念に掲げ推進されることと思いますが、その改革後の検証はどのようになされるのかお伺いします。</p> <p>また、協働のまちづくりを進めるためにも、市民目線の事業仕分けも有効な手段の一つと思いますが市長の考えをお伺いします。</p>	市長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
10	飯塚茂夫	<p>1. 災害の復旧・復興・まちづくりについて</p> <p>(1) 今回の相次ぐ災害の教訓として災害に強い道路の必要性を痛感しましたが、高規格道路を初め、主要道路の今後の整備計画についてお伺いします。</p> <p>(2) 東日本大震災による福島原発事故の教訓から、国より暫定指針が示されました。 当市としては防災計画の見直しなどをどのように対応するのかお伺いします。</p>	市長
11	高橋洋一	<p>1. 循環型社会形成及びエコクリーンセンター長寿命化計画について</p> <p>(1) 市はエコクリーンセンターの改修に向けて、十日町市一般廃棄物処理基本計画、地域計画、長寿命化計画の策定を進めています。 一般廃棄物処理基本計画（案）については公表されましたが、平成22年度から平成23年度策定とされている地域計画の概要、及び長寿命化計画策定に際し、CO₂排出削減量、エネルギーの効率化、再利用方法など目標値を定めているのかお伺いします。</p> <p>(2) 有価物の処理については全ての品目を再生処理委託していますが、10年を経過した中、見直しが必要であると言われました。 どのように検討されたのかお伺いします。</p> <p>(3) 市長は、就任当初の施策方針の中で、障がいのある方や高齢者の方へ配慮したまちづくりを提唱されました。有価物の処理を、障がいのある方や高齢者の雇用の場づくりに活用する考えはないのかお伺いします。</p>	市長

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
12	藤巻 誠	<p>1. 信濃川に往年の鮭をよみがえらせるための方策について 信濃川西大滝ダムの魚道に戦後最大の鮭が遡上してきているが、信濃川に往年の鮭をよみがえらせるための方策をお伺いします。 (1) 信濃川上流部での鮭の放流実績数と遡上数、信濃川の放流量との相関関係、及び今後の見通しについて。 (2) 新潟水辺の会、JR東日本、中魚沼魚協などの鮭の放流運動と連携して、十日町市が主体となった鮭の放流量100万匹運動に取り組むつもりはないか。 (3) 信濃川の流域に森をつくる運動の実績と今後の見通しについて。 (4) 長野県内の小学校や市内の飛渡小学校が取り組んでいる、鮭の発眼卵からの育成と、稚魚の放流に向けた運動に取り組むつもりはないか。</p>	市長
		<p>2. 500人体制に向けた組織機構のあり方と人員配置等について 500人体制に向けた組織機構のあり方と、各部局ごとの職員配置などについてお伺いします。 (1) 部制導入の評価と今後の対応について。 (2) 国や県、各団体等との人事交流の評価と今後の対応について。 (3) 500人体制に向けた、各部局や支所及び各職種ごとの人員配置計画について。 (4) 500人体制に向けた、24年度の職員配置予定（新採用を含む）と25年以降の配置計画について。 (5) 急激な500人体制への移行のため、職場にひずみが出ていると思われるが、どう捉えているのか。</p>	市長
13	小野嶋哲雄	<p>1. 持続可能な当市の農業施策について 当市の農業は中山間地（棚田）がほとんどであり、国の推進しようとしている大規模化によるコスト削減や競争力の強化にはそぐわない実態と認識するところです。 一般の環太平洋連携協定（TPP）協議への参加の是非も、当市の農業の実態を考えると、自国に資源を持たない輸出立国日本の工業生産業界の経済活動の陰に隠れ影の薄い状況に見えます。 今後、当市も含む中山間地の農業の存亡が危惧される中、持続可能な農業施策は各自治体の独自の施策が必要かと考えます。 当市の今後の農業施策について、国策を先取りした当市独自の後継者の育成策、農業施策に取り組む考えはないか下記事項についてお伺いします。 (1) 専業、第1種兼業、第2種兼業も含め、農業就労世帯の実態について。 (2) 当市における、農業及び農業関連産業の役割について。 (3) 農業後継者の育成対策について。 (4) 国の平成24年度事業、「新規就農総合支援事業」への当市の取り組みについて。</p>	

平成23年第4回定例会一般質問発言順序表

番	質問者	質問題目・要旨	答弁者
14	涌井 充	<p>1. 歴史を生かしたまちづくりについて 我が郷土出身の幕末期の漢方医学の名医、尾台榕堂没後140年記念事業の締めくくりとして記念碑が東京八重洲口近くの区道に建立されました。これを一つの土台として 医療政策：新十日町病院に漢方内科の新設 教育政策：漢方医学の専門職大学の誘致 農業政策：耕作放棄地に市の奨励作物として薬草栽培 産業政策：漢方薬製造の企業誘致 といった一連のサイクルでの歴史を生かしたまちづくり構想を進めるべきと考えますが市長の考えをお伺いします。</p>	市長 教育長
		<p>2. 安全・安心のまちづくりについて 東京電力、福島第一原発事故により、市民の放射能に対する不安は解消されていません。市長の原子力防災に対する考えと具体的対策についてお伺いします。 防災計画の見直し 情報伝達 避難経路 測定の仕組みづくり</p>	市長